

パネルディスカッション2

「胃がんリスク診断、ピロリ感染診断の決定版：学会勧告文書を検証する」

司会 伊藤 公訓（広島大学病院総合内科・総合診療科）

兒玉 雅明（大分大学医学部先進医療科学科）

現在、*H. pylori* 感染症は減少したが、高齢者を中心に現感染、既感染（除菌後）、未感染症例が入り乱れ、却って感染診断に混乱がみられている。また除菌後症例の増加は胃癌に占める除菌後胃癌の割合を著増させており、除菌後の対策も必要である。本主題では、改訂ガイドラインおよび血清抗体価に関する学会勧告文書を踏まえ、*H. pylori* 感染診断、また除菌後フォローアップにおける除菌後胃癌対策の適正化について広く演題を募集したい。